

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	日本語とコミュニケーション A		
英文授業科目名	Japanese Communication A		
開講年度	2006年度	開講年次	3、4年次
開講学期	5、7学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	志賀 幹郎		
居室	P-203		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shiga@fedu.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
日本語による対人的なコミュニケーションについて考えを深める

【前もって履修しておくべき科目】
ありません

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
ありません

【教科書等】
使わない。参考資料を配布

【授業内容とその進め方】
各自、授業用のノート(notebook)を用意し、課題に従いコミュニケーション収集を続けていく。(授業外での作業) 授業では、学生の発表を毎時間の核として、発表内容についてコメントしあう。 発表は、ノートに収集したものの公表。 人数次第だが、一人2、3回発表予定。

電気通信大学 平成18年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席(20%)

発表(30%)

コメント(20%)

ノート(30%)

*試験は行わない。ノートは随時チェックするとともに、期末には作品として提出してもらう。

【オフィスアワー：授業相談】

未定（授業の時に言います）

【学生へのメッセージ】

留学生と話す、留学生をまじえて討論するということが授業の中心ではありません。

コミュニケーションを収集し、ノートにきれいに記していくという自分だけの地味な活動がメインです。

普段することがそのように地味なので、授業では派手に。日本人学生と留学生の激論も演出したいと思っています。

【その他】